

MINI REPORT 2010

ミニレポート 2010

2010年9月期 上半期ディスクロージャー誌





埼玉県信用農業協同組合連合会 (平成22年9月末現在)

本店所在地	〒330-9001 さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号
電話番号	048(829)3504(代表)
設立	昭和23年8月
従業員数	199名
貯金残高	25,615億円
貸出金残高	2,700億円
出資金	1,116億円
自己資本比率	26.95%

目次

CONTENTS

□ごあいさつ	1
□JAグループ	2
□JAバンクシステム	2
□JAバンク・セーフティーネット	2
□経営方針	3
□業績	4
□リスク管理債権及び金融再生法開示債権	5
□有価証券の時価情報	6
□地域貢献活動	6
□店舗等一覧	9
□情報提供活動	9

ごあいさつ

平素より私ども埼玉県信用農業協同組合連合会(愛称/J Aバンク埼玉県信連)をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

この度、当会の事業・経営に関する平成22年度中間期の業務概況を取りまとめた「ミニレポート 2010」を作成いたしました。この小冊子をご高覧いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、昨今の国内経済は、緩やかに持ち直しの動きを進めてきたものの、急速な円高の進行と長期化、輸出や生産の鈍化等を要因として足踏みが続くものとみられております。

農業情勢につきましては、米の過剰や価格下落問題、戸別所得補償制度、E P A、T P P交渉の動向等、農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、安定した農業経営と担い手の育成・確保等が喫緊の課題となっております。

金融情勢につきましては、ゆうちょ銀行の預入限度額引き上げによる業容拡大懸念、銀行等他業態の農業融資への参入、地域密着型金融の強化等、業態を超えた顧客獲得競争が一段と激化しております。

このような情勢のもと、①J Aへの安定的な収益還元、②「J Aバンク埼玉」基盤強化に向けた効果的な機能還元、③経営体質の強化を重点項目と位置づけた「第10次中期経営計画」(平成22年度～平成24年度)を策定し、J Aとの連携を更に深めながら、より一層の経営効率化と基盤強化に向けた各種施策に取り組んでまいります。

また、J A・当会が一体となって、「J Aバンクシステム」の充実・強化を図り、競争力のある経営体質を確立するとともに、リスク管理・コンプライアンス・利用者保護の徹底に努め、利用者の皆様から信頼を確保できるよう努めてまいりますので、引き続き格別のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

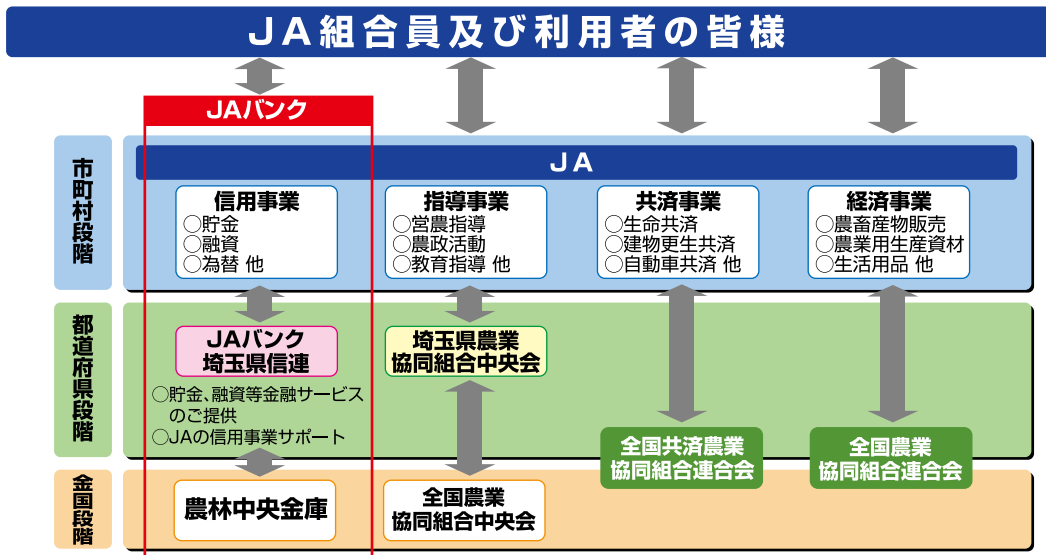
平成22年12月

経営管理委員会会長 江 原 正 視
代表理事理事長 宮 崎 信 夫

JAグループ

JAグループは、農家組合員をはじめとする組合員組織を基盤に、市町村段階のJA、都道府県段階、全国段階の連合会組織で構成し、それぞれが機能を分担し、信用事業のほか、指導事業・経済事業・共済事業・厚生事業等を展開しています。この市町村段階から全国段階までの仕組みを「JAグループ」と呼んでおります。

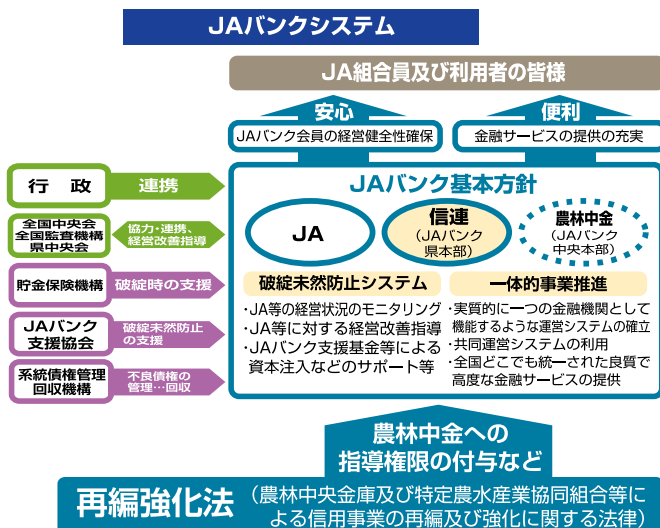
また、信用事業においては、総称して「JAバンク」と呼ばれており、JAと各都道府県において信用事業の本部機能を担う信連、全国域の本部機能を担う農林中央金庫をもって「JAバンク」グループを形成しております。



JAバンクシステム

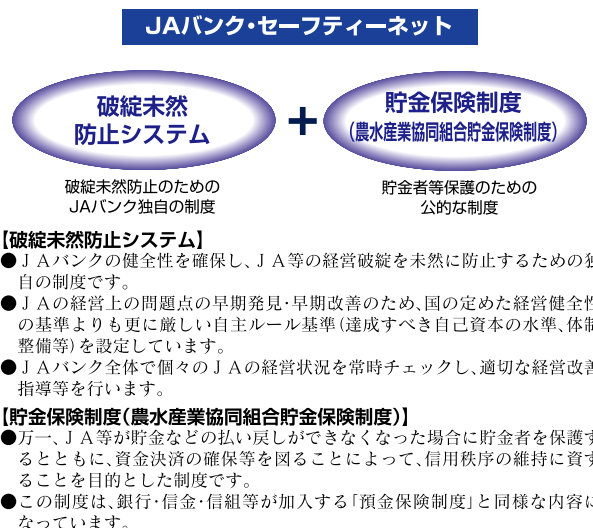
「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が一体的に事業に取り組むしくみを「JAバンクシステム」といいます。「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を生かした金融サービスの充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つの柱から成り立っています。

当会は、このシステムを確実に機能させるため、「JAバンク埼玉県本部」としての役割を發揮しております。



JAバンク・セーフティーネット

JAバンクでは、より安全な金融機関として信頼を得るため独自の「セーフティーネット」を構築しております。公的制度である「貯金保険制度」とJAバンク全体で経営の健全性を確保する仕組みである「破綻未然防止システム」により、組合員・利用者の皆様に一層の安心をお届けします。



経営方針

当会は、効率的な業務運営のもとに、JAと一体となって強固な経営基盤並びに「JAバンク埼玉」を確立し、経営理念として「JAとともに顧客の期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与する金融機関（JAバンク）を目指す。」ことを掲げ、事業運営を行っております。

このような経営理念を踏まえ、平成22年度より新たに「第10次中期経営計画」をスタートさせ、そのなかで掲げた経営目標の達成に向け、役職員一丸となり取り組んでおります。

経営理念

JAとともに顧客の期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与する金融機関（JAバンク）を目指す。

経営姿勢

当会は効率的な業務運営のもと、JAと一体となって強固な経営基盤並びにJAバンク埼玉を確立する。

第10次中期経営計画

（平成22年4月～平成25年3月）

重点項目

1. JAへの安定的な収益還元
2. 「JAバンク埼玉」基盤強化に向けた効果的な機能還元
3. 経営体質の強化

経営戦略

信連の経営基盤の強化

1. 安定的な収益確保
2. リスク管理の高度化
3. 経営管理態勢の確立
4. 組織力の強化

JAバンク埼玉の経営基盤の強化

1. 農業融資体制の強化
2. 生活メインバンク機能の強化
3. 経営管理強化・効率化
4. 地域・社会への貢献

対処すべき課題

今後当会が取り組むべき課題を次のとおりとし、課題克服に向け重点施策を強力に実践してまいります。

第1 信連の経営基盤の強化

- 安定的な資金調達と収益力の強化
- 統合的なリスク管理態勢の強化
- コンプライアンスを重視した内部統制の強化
- 効率的な業務運営体制の構築と人材育成強化

第2 JAバンク埼玉の経営基盤の強化

- 年金受給口座の拡大と個人貯金の増強
- 住宅ローンを中心とした更なる貸出金の伸長
- 農業者（担い手）への金融機能の提供
- 事務効率化に向けた取組強化

業績

平成22年9月末の業績につきましては、経済・金融動向を踏まえ、リスク管理を徹底したなかで約33億円の当期剰余金を計上することができました。

また、自己資本比率は、JAバンクシステムで定めた8%基準を上回る26.95%で推移しております。

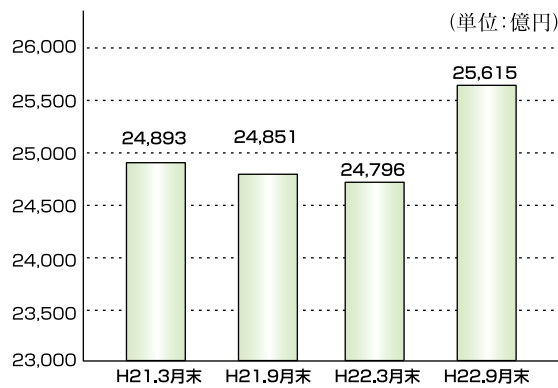
主な業績及び経営指標の推移

(単位:百万円,%)

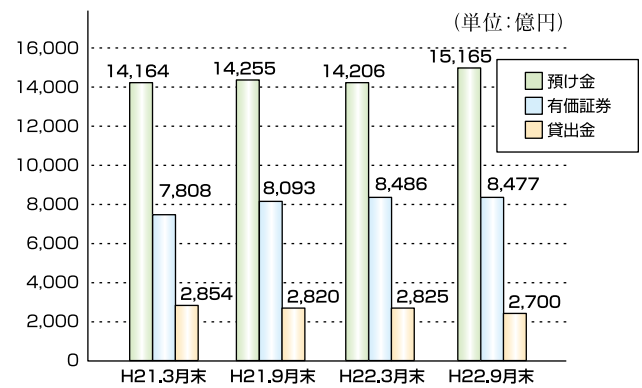
	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
貯金	2,485,126	2,479,689	2,561,520
貸出金	282,094	282,528	270,080
預け金	1,425,500	1,420,669	1,516,541
有価証券	809,389	848,641	847,705
経常利益	3,693	6,973	4,907
当期剰余金	3,049	6,491	3,380
自己資本比率	22.38	26.82	26.95

(注)自己資本比率は、金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその健全性を判断するための基準に基づき算出しております。

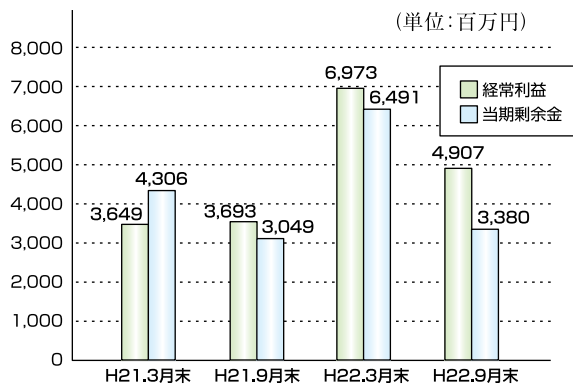
貯金残高推移



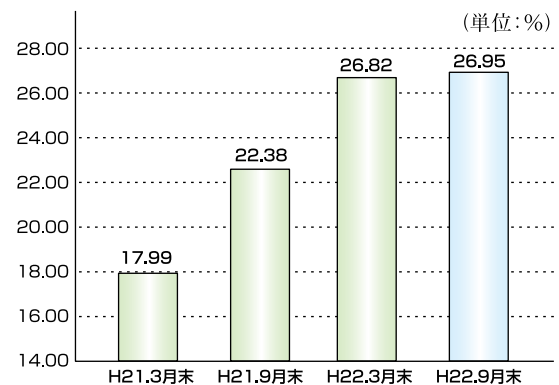
資金運用の状況



損益の状況



自己資本比率の推移



(注)平成21年9月末及び平成22年9月末の経常利益、当期剰余金並びに自己資本比率は、各期の仮決算結果に基づき算出したものです。

リスク管理債権及び金融再生法開示債権

■農業協同組合法に基づくリスク管理債権

(単位:百万円)

債権区分	H22.3月末	H22.9月末	増 減
破綻先債権	681	635	△46
延滞債権	1,097	1,074	△23
3カ月以上延滞債権	—	—	—
貸出条件緩和債権	—	—	—
リスク管理債権合計	1,779	1,709	△70

(注1)破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していること、その他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未取利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未取利息不計上貸出金」という。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金をいいます。

(注2)延滞債権

未取利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金をいいます。

(注3)3カ月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で、破綻先債権及び延滞債権に該当しないものをいいます。

(注4)貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

【保全状況】

(単位:百万円、%)

債権区分	債権額 (A)	保 全 額			保全率 (B)/(A)
		担保・保証等	貸倒引当金	合計(B)	
破綻先債権	635	635	0	635	100.00
延滞債権	1,074	300	729	1,030	95.90
3カ月以上延滞債権	0	0	0	0	—
貸出条件緩和債権	0	0	0	0	—
リスク管理債権合計(C)	1,709	935	729	1,665	97.42
貸出金残高(D)	270,080				
リスク管理債権比率	0.63				

(注) リスク管理債権比率 = (C) / (D) × 100

■金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

債権区分	H22.3月末	H22.9月末	増 減
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	720	693	△26
危険債権	1,097	1,054	△43
要管理債権	—	—	—
小 計	1,817	1,747	△69
正 常 債 権	282,008	269,583	△12,424
開示対象債権合計	283,825	271,330	△12,494

(注1)破産更正債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

(注2)危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

(注3)要管理債権

3カ月以上延滞債権で、(注1)及び(注2)に該当しないもの並びに貸出条件緩和債権をいいます。

(注4)正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題のないものとして、(注1)から(注3)までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

【保全状況】

(単位:百万円、%)

債権区分	債権額 (A)	保 全 額			保全率 (B)/(A)
		担保・保証等	貸倒引当金	合計(B)	
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	693	656	36	692	99.87
危険債権	1,054	280	729	1,010	95.82
要管理債権	0	0	0	0	—
小 計 (C)	1,747	937	765	1,702	97.43
正 常 債 権	269,583				
開示対象債権合計(D)	271,330				
不良債権比率	0.64				

(注) 不良債権比率 = (C) / (D) × 100

(注) 平成22年9月末の計数は、9月末の仮決算において3月末決算と同一に自己査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当要領に基づき計上したものです。

有価証券の時価情報

当会の有価証券の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	平成22年3月末			平成22年9月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満 期 保 有 目 的	427,724	436,176	8,451	417,523	427,471	9,947
そ の 他	412,884	420,916	8,032	416,518	430,181	13,663
合 計	840,608	857,093	16,484	834,042	857,653	23,611

(注1) 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づく時価により計上しております。

(注2) 満期保有目的の債券並びにその他有価証券の取得価額は、償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

地域貢献活動

事業を通じた地域貢献活動

当会がお預かりしている資金の大半は、県内のJAにお預けいただいた組合員・利用者の皆様の大切な貯金を財源としております。そしてこれらの資金は、融資業務を通じて、農業関連法人をはじめとする地域の企業・団体や地方公共団体等にご活用いただいているとともに、農業専門金融機関として、農業担い手の経営をサポートしております。

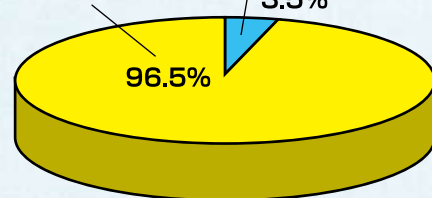
資金調達状況

平成22年9月末の当会の貯金残高は2兆5,615億円となっており、うち2兆4,711億円を県内JAからお預かりしております。

また、JAや農業団体だけではなく、地域金融機関として地方公共団体や地元企業からも広く資金をお預かりしております。

JAからのお預かり分 2兆4,711億円

自己調達分 903億円



貯金残高 2兆5,615億円
(H22.9月末)

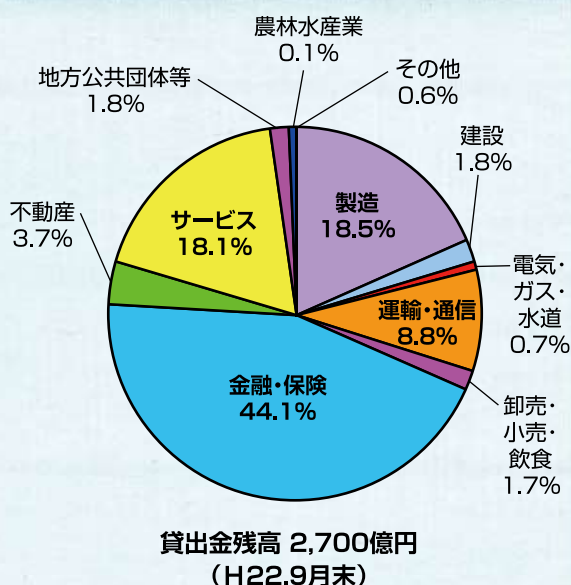
資金供給の状況

■業種別の貸出金残高の構成

地域経済の発展に寄与する金融機関（JAバンク）という経営方針から、農業金融はもとより地域の企業や個人の皆様の幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするよう努めてまいります。

また、(株)日本政策金融公庫等の受託金融機関として、農業・住宅等の制度融資の窓口となっております。

さらに、埼玉県債の引受けによる資金は、県の公共事業、社会福祉活動等へ利用されております。



■地域密着型金融への取り組み

JAバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っております。

- 「担い手応援ローン」、「JA農機ハウスローン」、「アグリスーパー資金」等の担い手向け金融商品並びに農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。
- 農業経営の効率化・高度化に取り組む農業者の支援を目的に「アグリスポート利子助成事業」を実施し借入負担の軽減を行っております。
- 「担い手金融リーダー会議」を開催し、担い手金融リーダーの対応力の向上及び農業者・農業経営体に対するバックアップ等に努めております。
- 「夏の農機大展示会」に参画、「農業資金融資相談窓口」を設置し、融資相談を行うとともに各種農業資金のPRを行いました。



夏の農機大展示会
平成22年7月24日・25日 むさしの村にて

資金名	資金の使いみち
担い手応援ローン	○個人…農業生産に直結する運転資金 ○法人…農業経営に必要な運転資金
JA農機ハウスローン	○農機具の購入、修理等のための資金 ○パイプハウス資材、建設費用 ○格納庫建設資金 ○他金融機関の農機具等ローンの借換資金
アグリスーパー資金	○農業生産、農業経営に必要な運転資金

文化的・社会的貢献に関する事項

当会は本来の事業活動に加え、地域金融機関として、自然環境維持・地域文化活動・福祉等、地域に対する貢献活動を実施しております。これからも様々な活動を通じて地域社会の発展と繁栄に貢献してまいります。

埼玉森林サポータークラブへの助成

県内で森林保護ボランティア活動を実施しているNPO法人「埼玉森林サポータークラブ」に対し役職員からの寄付金並びに当会からの助成金を進呈いたしました。



平成22年9月9日
当会江原会長より埼玉森林サポータークラブ
菅家副会長(左)へ目録を進呈

ゲートボール、グラウンド・ゴルフ大会

「埼玉県農協年金友の会連絡協議会」との共催により、ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会を開催し、年金友の会の活性化並びに、地域の皆様の健康づくり、仲間づくり等に協力しております。



埼玉県農協年金友の会グラウンド・ゴルフ大会
平成22年5月20日 彩の国くまがやドームにて

花の苗プレゼント

日頃のご愛顧に対する感謝を込めて、ご来店者や地域の皆様に花の苗をプレゼントさせていただきました。このような活動を通じて、JAバンク埼玉のPRに取り組みとともに、地域の皆様との交流を深めております。



平成22年6月22日 当会本店前にて

献血への協力

医療において輸血は欠かすことのできない治療方法であり、尊い命を守るため、平成15年より継続して日本赤十字社の献血活動に参画し、社会福祉活動に努めております。



平成22年9月28日 当会駐車場にて

エコキャップ運動への取り組み

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加。本年度は23,000個(ワクチン:28.8人分)のキャップを回収し、エコキャップ推進協会に届けました。

JAバンク食農教育応援事業

次代を担う子どもたちが、食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、教材本を県内小学校に贈呈させていただきました。

店舗等一覧

■営業店舗

(平成22年9月末現在)

名称	所在地	代表電話番号	FAX番号
本店	〒330-9001 さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号	048(829)3504	048(829)3588

■推進拠点

(平成22年9月末現在)

名称	所在地	代表電話番号	FAX番号
浦和事業推進部	〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2丁目16番6号	048(829)3010	048(829)3013
熊谷事業推進部	〒360-0031 熊谷市末広1丁目62番地	048(524)9711	048(525)4543
春日部事業推進部	〒344-0067 春日部市中央1丁目52番地8	048(737)6111	048(736)4434

情報提供活動

■ホームページのご案内

ホームページには、当会の概要や経営・財務情報をはじめ、各種金融商品の最新情報、JAバンク埼玉の各種お知らせなどを掲載しております。皆様からの積極的なアクセスをお待ちしております。

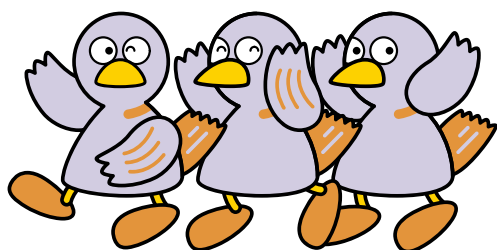


ちよきんぎょ®

<http://www.jabank-saitama.or.jp>



笑 顔 あ ふ れ る
や さ し い 未 来 へ 。



埼玉県のマスコット“コバトン”

〒330-9001さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号
TEL 048(829)3504
<http://www.jabank-saitama.or.jp>